

# 平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式3)

## 3 2回目評価

学校名(

伏見南浜幼稚園

)

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にわらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						自己評価		学校関係者評価	
						評価日	平成27年3月10日	評価日	平成27年3月4日
						評価者・組織	教員による職員会議	評価者(いずれかに○)	○学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校 評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	言葉による伝え合う力の育成 心を動かす体験や活動の援助 読書の習慣化	学年ごとに個人差を考慮に入れた日々の保育の充実 心を動かす体験や夢中になる活動を子どもとともに作り上げる保育 絵本貸し出しの日実施	園で子どもが成長したと感ずることはどんなことでしょうか。 子どもは楽しんで活動していますか。 親子で絵本貸し出しについて取り組んでいますか。	個人差が大きいですが、概ね成長している。どの学年でも成長を感じる。 個人差が大きいですが、概ね活動している。行事活動が大きく変わるの絵本貸し出しを親子とも楽しみにしている。	⇒ 前期に引き続き、その成果を数値化や子どもの変容を具体的に把握することには困難である。しかし、それだけに日々の保育の充実が最も大切な営みとなり、園一丸となって取り組んできた。親子絵本貸し出しの取り組みは今後も引き続き充実を図る。	家庭環境に不安をもっている子どもや発達上での困りを持っている子供の中には、自分の思いを表現したり、言葉で自分の気持ちや思いを表わすことが苦手であるため、さらにきめの細かい個人に対応した保育の改善を図る。	⇒ 幼稚園でいろいろ工夫した取り組みをさせることが大切である。例年の協議会がお手伝いできる園行事は継続させたい。	運営協議会がお手伝いできる園行事をこれからもサポートします。
2	豊かな心	ひとり一人の子どもについて具体的な課題の把握 居場所・要場所づくり 協働活動を通じた豊かな心の育成	教師の環境構成や援助の工夫を図ること 「居場所・要場所のある保育を目指して」の園内研修のテーマに設置 他園と協働でのクリーンキャンペーン活動	子どもは毎日楽しく幼稚園ですごしていますか。 子どもはお友達や家族を大切にしていますか。 きまりをしっかりと守っていますか。	概ね楽しく過ごしている。 子どもは大切に育てられている。 ほぼできているが、個人差が大きい。私たち、保護者の姿勢が大	⇒ あたたく大切に子どもを育てている保護者が多い。反面、子どもに対して規範意識を育てるという姿勢や態度に欠ける姿も見られることがある。子どもの中には、自分の感情のコントロールが難しく、してはいけないこと、よいことの判断が困難な姿が見ら	社会的なきまりを守りつつ自分で考え自由に行動する楽しさを味わえる環境(居場所)づくりに努める。(要場所)づくりの力を入れた結果、自分が必要とされた経験も多く持たせられ、自尊感情を少しでも育てられたと自負できる。	⇒ まず、親や大人が見本を見せたり、決まりを守ることが大切で、子どもをそれを見ている。率先して大人が実践することが大切である。	子どもは地域の宝である。地域の子どもは地域で育てる。このことを地域でぜひとも共通理解し子どもに接したい。
3	健やかな体	基本的な生活習慣の育成 体を動かす楽しさを味わせる。	ノーテレビ、ノーゲームデーの実施 安心、安全に考慮した環境の実施・活動の工夫	ノーテレビ、ノーゲームデーはしっかり取り組んでいますか。 自分から進んで体を動かしていますか。	取り組むように努力をしている。テレビをつけずに、家族で過ごす時が個人差は大きいですが、ほぼ楽しんでいる。	⇒ ノーテレビ、ノーゲームの取り組みが進み、概ね理解されてきたが、家庭での具体的な取り組みにまでは至っていない。	さらに、積極的な取り組みにされるよう啓発を進めたい。安心、安全面で骨折も含めて、けがを防ぎ切るには課題が残った。	⇒ 良い取り組みで継続してほしい。	大人もテレビなどに依存しない。特に携帯電話を見直すことが大切である。
4	独自の取組	ひとり一人の子どもについて具体的な課題の把握 家庭や地域との連携 情報発信の充実	育成支援教育の充実 幼・小・中3校学校運営協議会の設置 ホームページの更新	子どもはお友達や家族を大切にしていますか。 地域行事への参加 学校ホームページへのアクセス数	本年度は、園とPTAで育成支援教育の研修会が持たれたことは良かった。参加するほうである。地域活動が多く喜んでいる。 少ない。	⇒ 南浜学区は地域が一体となった取り組みが多く、少しずつではあるが参加数も増えている。幼、小、中の地域学校運営協議会が設置され連絡会を開けられたことは特筆できる。	PTAと共催で本年度初めての総合育成支援教育の研修会を開催できた。これは大きな成果である。また、保護者向けHPの更新が課題である。	⇒ 3校運営協議会はそれぞれの園、学校の取り組みをさらに充実させ、それぞれの良さを持ち込みたい。	継続させ次年度も実施する。

## 4 総括・次年度の課題

保護者・地域・教職員それぞれの評価を更に活用して保育の充実を図る。南浜幼稚園は地域とのかかわりが特に深く、地域の中の幼稚園としての伝統と歴史を持っている。今後も学区とより密接な関係を築き、更なる連携を図ることが重要である。保育においては、さらに個人差に対応した取り組みが望まれる。